

模擬講義 派遣講師紹介資料（東京薬科大学）

氏 名	平田 尚人
学科名	医療衛生薬学科
教室・研究室名 職位	臨床薬剤学教室 准教授
タイトル	災害医療と薬剤師
サブタイトル	災害時にも活躍している薬剤師の話
講 義 内 容	災害時の医療は、いわゆる“瓦礫の下で行う救急医療”という印象を持っている方が多いかも知れませんが、実際は違います。むしろ、普段から通院している病気の治療が中断してしまったり、長期間の避難生活のため心身ともに疲労して、体調を崩してしまったりする方が多いのです。このような被災者に対して、薬剤師は発災直後の急性期から慢性期にかけて、非常に長いスパンで活動をしています。 災害時の薬剤師は、他の医療職とチームを組むだけでなく、時には薬剤師だけでチームを組んで、災害医療の支援や被災された方々の健康サポートのために頑張っています。模擬講義では、日赤救護班や日本 DMAT 隊員としての実際の経験を踏まえ、薬剤師が災害時やコロナ禍でどんな活動をし、職能がどう生かされているのかを紹介します。 また、本学では災害医療をどのように教育しているのか、教育実績や現状についてもお話をさせていただきたいと思います。
自身で持参する物 ※持参・該当するものに☒	☒ パソコン（ OS： ☐ Windows ・ ☒ Mac ） →接続ケーブル（ ☐ RGB ・ ☐ HDMI ・ ☒ どちらでも可） ※Mac をお使いの場合は、ご自身で接続ケーブル（変換コネクタ）をお持ちください。 ☐ その他（ ）
会場で 準備いただきたい 備品等 ※必要なものに☒	☒ プロジェクター・スクリーン ☐ その他必要な物※（ ） ※会場・物品によっては準備が難しいことがあります。
その他伝達事項	コロナ禍での出張が難しければ、オンラインでも対応可

